

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル &amp; アジア

## ショートフィルムで未来のまちや暮らしについて考える「環境未来都市・横浜」 FutureCity Yokohama Award受賞作品が 美しい心を持ったロボットが主人公のアニメーション作品に決定

アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) と横浜市は、国内外に対する「環境未来都市・横浜」の普及啓発活動の一環として、映画祭内に横浜の名を冠した「FutureCity Yokohama Award」を2013年に設立。3年目の取り組みとなる今年は、6月6日(土)、SSFF & ASIAの横浜会場であるブリリア ショートショートシアターでノミネート6作品の上映と表彰式が行われ、韓国アニメーション作品『アーティスト110』が受賞を果たしました。

『アーティスト110』は、主人公のロボットが美しい心を持ち、明るい未来を思い描くストーリーとなっており、自分の思いや心によって、世の中が良い街に変わっていくという視点は、まさに環境未来都市・横浜が掲げるコンセプトと合致していました。受賞作品は、未来のまちや暮らしについて考えることを広めるため、環境に関するイベントなどで活用される予定となっております。ノミネート作品は、6月10日(水)、6月13日(土)もブリリア ショートショートシアターにて上映会がございます。

<http://www.shortshorts.org/2015/ja/program/future.php>

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ本件の告知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### SSFF & ASIA 2015 FutureCity Yokohama Award 受賞作品



#### 『アーティスト110』

監督オ・セオロ / 韓国 / 16:00 / アニメーション / 2014

古い作業ロボットが事故を起こす。その時見つけたものは絵描き道具。ロボットは、その道具を使ってあちこちに絵を描き始めるが・・・。

#### 【上映歴】

釜山国際短編映画祭 2014 (韓国)、アニマ・ムンディ映画祭 2014 (ブラジル)  
 プチオン国際学生アニメーション映画祭 2014 (韓国)



#### 【オ・セオロ監督から喜びのコメント】

今回、このFutureCity Yokohama Awardを受賞してとても光栄です。まったく予想していなかったので、とても驚いています。『アーティスト110』は、未来の工業都市を舞台に、労働ロボット110号が、ある事件をきっかけに絵をあちこちに描いて、ある人の心を変えるという話です。機械に囲まれた暮らしをしている人間の心をロボットが変えるというユニカルなメッセージもこめてみました。僕は、ロボットというテーマがとても好きで、また、機械に絵具を持たせるということもロマンチックだなと思います。カムサハムニダ！

#### 【監督プロフィール】

2014年にChungkang大学を卒業。

2010年に制作したアニメーション『SOCKPEPPET!』はインディー・アニフェストにてノミネートされる。

#### ■環境未来都市とは・・・

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されています。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>

#### 【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)

担当: 白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958

e-mail: [ssffasia2015@yocpr.com](mailto:ssffasia2015@yocpr.com)

#### 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当: 高橋(090-3049-1284) 加賀矢間

TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail: [press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)

ブリリア ショートショートシアター(横浜会場) TEL: 045-633-2151